

しじゅんせつだい しゅじつ
四旬節第1主日

きょうのふくいん ルカ 4. 1~13

「そのとき」イエスはせいにみちて、ヨルダンがわからおかえりになった。そして、あれののなかを、「れい」によってひきまわされ、40にちかん、あくまからゆうわくをうけられた。そのあいだ、なにもたべず、そのきかんがおわるとくうふくをおぼえられた。そこで、あくまはイエスにいった。「かみのこならこのいしにパンになるようにめいじたらどうだ。」イエスは、『「ひとはパンだけでいきるのではない』』とかいてあるとおこたえになった。さらに、あくまはイエスをたかくひきあげ、いっしゅんのうちにせかいのすべてのくにぐにをみせた。そしてあくまはいった。「このくにぐにのいっさいのけんりょくとけんいとをあたえよう。それはわたしにまかされていて、これとおもうひとにあたえることができるからだ。だからもしわたしをおがむなら、みんなあなたのものになる。」イエスはおこたえになった「あなたのかみであるしゅをおがみ、ただしゅにつかえよ』』とかいてある。」そこで、あくまはイエスをエルサレムにつれていき、しんでんのやねのはしにたたせていった。「かみのこなら、ここからとびおりたらどうだ。というのは、こうかいてあるからだ。

『かみはあなたのためにてんしたちにめいじて、あなたをしっかりとまもらせる。』また『あなたのあしがいにしにうちあたることのないように、てんしたちはてあなたをささえる。』
イエスは、『「あなたのかみであるしゅをためしてはならない』』といわれている」とおこたえになった。あくまはあらゆるゆうわくをおえて、ときがくるまでイエスをはなれた。

いままで「年間第~の主日」とかいてありましたね。きょうから「四旬節」にかわったこと
きがつきましたか。

どうしてかとすこしせつめいをしましょう。

このあいだのすいようび「3がつ2か」は「はいのすいようび」といって四旬節がはじまりました。
4がつ17にちイエスさまのふつつさいまでの40にちかんはイエスさまのふつつをむかえるため
にこころのじゅんびをします。(にちようびをのぞいて)

はいの水曜日 3がつ2か	4日かん	しじゅんせつだい 四旬節第1日曜日 3がつ6か	6日かん	四旬節第2日曜日 3月13日	6日かん
四旬節第3日曜日 3がつ20か	6日かん	四旬節第4日曜日 3月27にち	6日かん	四旬節第5日曜日 4がつ3か	6日かん
枝の祝日(受難主日) 4がつ10か	6日かん	ご復活 4月17日	6×6(=36)+4=40日になりますね。		

かんじの『旬』は10かかんといういみです。ですから10かける4は40になりますね
(にちようびをのぞくので)ふつつさいまで40にちかんを「四旬節」とよぶのです。

きょうのふくいんしょでは、イエスさまがかみさまのしごとをはじめるまえの40にちかんあくまから
ゆうわくをうけることになりました。

あくまはイエスに「このいしをパンにかえるように、そしてわたしにひれふしておがむならせかいを

すべてあたえるといいました。それにたいして、イエスさまは「ひとはパンだけでいきるのではない、かみさまからでる一つひとつのことばでいきる」「あなたのかみである主をおがみただしゅにつかえよ」ときゅうやくせいしょのことばであくまのゆうわく（わるいこと、うそのことをするためのさそい）、をさけられました。わたしたちは、イエスさまのやりかたにならって、ふっかつさいをむかえられたらいいですね。

わたしたちのまわりにはゆうわくがたくさんあります、しゅくだいやおけいこをしなければならないときに、ゲームをやったりダラダラしたり、テレビばかりみたりなどありますね。いまのしじゅんせつのあいだに、これらのことをするのは、わるいことではないですが、むちゅうになってじぶんがなにをしないといけないうちをそのときおもいだしましょう。それはいちばんたいせつだし、がまんすることも、ふっかつさいをむかえるためにところをきれいにしていくことになるのです。

しじゅんせつのあいだ、じぶんがなにをしたらいいか、きょうかいがっこうがあつたらみんなではなしあつてできますが、できないので、おうちのかたとはなしあつて、このしじゅんせつのあいだに、なにをしたらいいかときめてほしいです。

イエスさまは、いちにちじゅう、わたしたちとともにいるので、じぶんがイエスさまとともにいることをかんじてほしいです。なにかをするときにじぶんのところのなかにいるイエスさまとそうだんして、イエスさまがのぞんでいることをきめたらうれしいです。

まいにち、いのりもわすれられないでほしいです。じぶんのため、かぞくのため、くるしんでいるひとのため、などなど。いそがしくなりますね。

ぬりえ

